



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 安達 紀史

令和7年4月22日 No.01

新年度の出発にあたって

光り輝く春の陽光と共に、希望の喜びに満ちた新年度を迎えました。お子様の御入学、御進級を心からお祝い申し上げます。

さて、私は、4月1日に三鷹市立第七中学校から着任した、校長の安達紀史(あだち のりふみ)と申します。前任の伊藤 淳校長の後を引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。本校は、今年で創立63年目を迎える伝統ある学校です。その歩みには12名の歴代校長、多くの教職員の方々、そして保護者・地域の皆様方のご尽力があります。この府中第五中学校に着任できたことを光栄に思うと同時に、その職責の重さを感じています。

簡単に自己紹介をさせていただきます。初任は江東区にある都立墨東養護学校で院内学級の教師として採用されました。その後、大田区、杉並区、三鷹市で経験を積み、府中市で校長となりました。教科は理科で、部活動はバスケットボール部を指導してきました。

杉並区、三鷹市では、地域とともにあるコミュニティ・スクールの取り組みを実践し、小中一貫教育の推進を通じて、社会に開かれた学校づくりに努めてまいりました。

このような経験を私自身の強みとして、生徒を第一に考え、保護者の方の気持ちや地域に寄り添って、府中第五中学校の発展に心を尽くす所存であります。

今年度は、新1年生156名を迎え、合計468名の生徒とともに令和7年度がスタートします。本校の校訓である『自己発見』の精神を継承し、教職員全員で子供たちの大きな成長に向け総力をあげて教育活動を展開していきます。

生徒が、安心して充実した学校生活を送ることができるためには、学校・家庭・地域が共に手を取り合ってサポートしていくことが大切だと考えています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、令和7年度も、本校の教育活動に対する御理解、御協力を、よろしくお願いいたします。



誓いの言葉(入学式)

やわらかな暖かい風が、春の訪れを感じさせる今日この頃、私たち156名は府中市立府中第五中学校の新1年生として入学式を迎えました。本日は、このような立派な式を挙行していただきありがとうございます。小学校六年間を共に過ごしてきた仲間、新しい仲間と学習できること、とても嬉しく思います。

先月までランドセルを背負い、小学校に通っていた私たちは、新しい制服に身を包み、不安や嬉しさ、期待など様々な気持ちを抱えています。中学校では、学習が難しくなり、部活や特別活動が始まります。新しいことが多く、たくさんの不安を感じています。中学校生活は思い通りに送ることが難しいかもしれません。でも、そんなときこそ仲間と協力しようと思います。これは小学校生活で学びました。仲間と協力して様々な困難をのりこえ、深い関係性を築くことができました。だから、「協力する」という考えを念頭に置いて行動しようと思います。中学校では、小学校よりも、主体的に「考動」(考え、行動する)する力が求められます。そのため、より中学生だという自覚を持ち、自主的に「行動」していきたいです。五中には「自己発見」「深く考え、志高く生きる人になる」「自他を敬愛し、心豊かな人になる」「健やかで、社会に貢献できる人になる」という校訓があります。私は、この校訓の人物像を思いうかべながら、授業はもちろん、部活や行事に積極的に取り組みたいです。始めは悩むこともあるかもしれませんが、それをのりこえ、仲間との思い出をたくさん作り、悔いのないように過ごすことをここに誓います。

これからの3年間、自分が今置かれている場所で輝けるよう、大地黄金に精一杯頑張ります。校長先生、先生方、先輩方、保護者の皆様、私たち新1年生を、温かく見守り、ご指導くださいますようよろしくお願い致します。



令和7年度 新入生代表

歓迎の言葉(入学式)

穏やかな日差しに心和む季節となりました。府中第五中学校に入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生代表として、皆さんのご入学をお祝いできることを、私は大変うれしく思います。皆さんの中学校生活は今日から始まります。皆さんは、今、新しく始まる生活に、うれしさや楽しさとともに、不安や緊張感をもっているのではないのでしょうか。でも、心配はいりません。勉強についていけるだろうか、人間関係をうまく築けるだろうか、新しい環境に慣れるだろうか。そんな不安をもっている皆さんに、私から中学校生活についてお話しします。

まず勉強についてです。勉強では、小学校と違う点が二つあります。一つ目は、教科ごとに担当の先生が変わることです。そして、一年生は年四回の定期考査があります。小学校よりも勉強は難しくなり、戸惑うこともあると思いますが、皆さんが中学校で成長できるように、先生方がわかりやすく教えてくださるので、安心して勉強できます。次は、部活動です。五中には、八種類の運動部と四種類の文化部があります。まだ、どの部活動に入部しようか決めていない人も大丈夫です。仮入部期間を通して、さまざまな部活動の雰囲気を知れるので、よく考えてから入部することができます。ぜひ、たくさんの部活動に仮入部をしてみてください。

中学校では、他にも生徒が行事を中心となって運営をしたり、委員会活動が学校生活に密接にかかわる場面が多くあります。新しい経験で、楽しいこともあれば、つらいこともあるかもしれません。そんなときに、覚えていてほしいことがあります。それは、周りの人に頼っていいということです。皆さんの周りには、必ず助けてくれる人がいます。自分で全力を出し切ることも必要ですが、仲間と協力することは、学校生活では大切なことです。助けてくれる仲間や先生、そして私たち先輩が近くにいることを忘れないでください。そして、私から伝えたい最後のことは、絶対にできると思っ

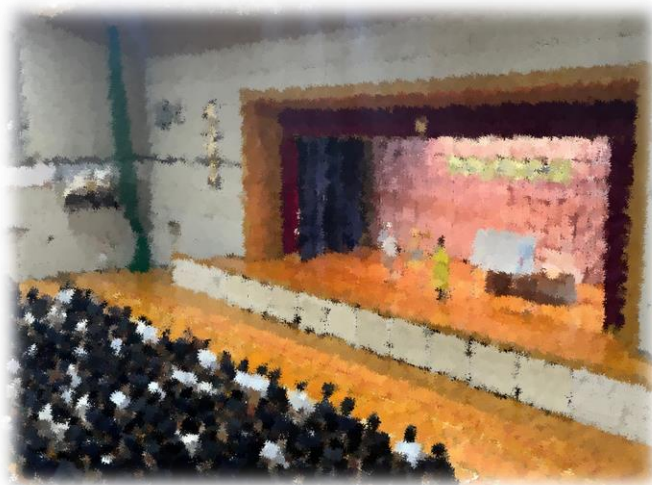
て挑戦を繰り返すことです。

中学校生活は、小学校の半分の三年間です。この短い期間で大切なことは、何事にも前向きに取り組むことです。有名な画家、パブロピカソは、「できると思えばできる、できないと思えばできない。これは、ゆるぎない絶対的な法則である。」という言葉を残しています。この言葉にあるような挑戦し続ける姿勢で、中学校生活を過ごしてほしいと思います。これからの皆さんの中学校生活が、笑顔と挑戦であふれることを願って、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和7年度 生徒代表

セーフティ教室

4月19日(土)に全校生徒を対象にセーフティ教室を実施しました。講師には、全国読売防犯協会セミナー講師の羽藤雄次様をお招きし、善悪の正しい判断や社会のルールについて理解を深める講演をしていただきました。特に、インターネットの安全な使い方や、日常生活に潜む危険を予測し回避する力、犯罪から自分自身を守るために必要な行動について、具体的な事例を交えてわかりやすくお話いただき、生徒たちも真剣な表情で耳を傾けていました。



五中生の活躍

【ハンドボール】

第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 女子の部 準優勝
全国中学生ハンドボールクラブカップ2024 女子 優勝 優秀選手賞